

令和5年度第1回岡山市経済政策審議会における主要な意見

- 1 日 時 令和5年8月24日（木曜日）午前10時00分～午前11時15分
- 2 場 所 岡山市役所本庁舎3階 第3会議室
- 3 出席者 委員8名
- 4 傍聴者 報道0名、傍聴者0名
- 5 議 題 産業振興アクションプラン、観光振興アクションプラン、農林水産振興アクションプランの取組状況について

6 主要な意見

- ・ 物流施設に比べ工場拡張のための土地の取得が難しい。国の制度による部分が大きいと認識しているが、製造業を一つの重要な産業として工業立地政策を推進してほしい。
- ・ 物流の2024年問題は、東京までの距離を考慮すると、岡山は大きなダメージを受けるので取り組みが必要ではないか。
- ・ 岡山市全体の人口増が見込めない中で、経済成長を第一目標にしたアクションプランを続けていくのは、厳しいのではないかと考える。持続性や、環境面からの検討も必要と考える。
- ・ 人口減少に伴い、インフラ維持の1人当たりのコストが高くなっていく。人口が集中しすぎても、インフラの維持が困難になり、住みにくい。岡山市は人口当たりの病院数が多い等、素晴らしい都市機能があるので、それをアピールし、人口増加を目指してはどうか。
- ・ 観光はコンテンツの充実が重要だが、稼げる観光へ向かうこと、地域の誇りを住民と分かち合うこと、の二点が重要と考える。KPIも経済効果が認識できるもの、観光消費額がわかるものにしてはどうか。
- ・ 後樂園と岡山城は良い連携ができている。岡山カルチャーゾーンや表町、商業施設

へ広げ、文化・食・買い物などへ連携していくことが必要ではないか。

特に「食」は観光目的として注目されているので、初めて岡山を訪れる方や外国の方にもわかりやすく情報提供し、しっかり岡山の魅力を発信してほしい。市内だけでなく県内・瀬戸内圏の食を発信できれば、中四国のハブとしての機能が発揮できるので はないか。

- ・観光客を駅からどう誘導し、どこに泊まってもらい、どう楽しんでもらうか等、駅の活用が重要ではないか。
- ・農業従事者は高齢化し、耕作放棄地も増えている。他県からの新規就農者を呼び込み、農村泊などで農村を元気にする取組が必要ではないか。
- ・スマート農業は、個人でするのは難しい。使いやすく、多くの人で共有できるシステムを取り入れてはどうか。
- ・農業と障害福祉は密につながっていくことができると思うので、耕作放棄地利用などで連携してはどうか。
- ・京橋の朝市はあるが、後楽園や岡山城に近い石山公園でも毎週日曜市を開催するなど盛り上げてはどうか。